

# NEC、グローバル事業の拡大を推進する経営スピードの向上を目的に、オラクルのクラウドで海外拠点の予実管理の可視化を実践

日本オラクル株式会社

2020-01-30 12:00

日本オラクル株式会社（本社：東京都港区、執行役 最高経営責任者：ケネス・ヨハンセン）は本日、日本電気株式会社（本社：東京都港区、執行役員社長 兼 CEO：新野 隆、以下：NEC）が、グローバル事業の経営スピードを向上することを目的に、オラクルのクラウド型経営管理ソリューション「Oracle Enterprise Performance Management (EPM) Cloud」を活用していることを発表します。

NEC は、2018 年度から 2020 年度までの 3 カ年の中期経営計画「2020 中期経営計画」の重点施策として「グローバル・ビジネスの拡大」を掲げ、海外売上比率約 30%を目指し海外事業の再編を実施しました。グローバル事業の成長加速のため、事業責任と権限を一元化した体制を構築し、経営スピード向上とコスト削減を目指しています。その一環として、変化の激しい海外ビジネスにおける迅速な意思決定に、グローバルに点在する地域統括・海外子会社の情報を収集・可視化・分析できる経営基盤が必要でした。

NEC 本社の「グローバルビジネスユニット」で、北米・南米・欧州・中華圏・アジアの地域統括会社と各現地法人の財務および案件を統合して予実管理するシステムの導入を検討し、2018年6月にオラクルがSaaSで提供する「Oracle EPM Cloud」を採用することを決定しました。その後、順次ユーザー数を拡大し、2020年には導入当初の5倍のユーザーが「Oracle EPM Cloud」の使用を予定しています。

「Oracle EPM Cloud」導入の結果、NECは次のポイントを高く評価しています：

- 国内外の拠点の販売実績・受注情報を連携、営業担当者から予測・計画値をタイムリーに収集・集計・分析できる基盤を構築
- 使い慣れた表計算ソフトによる、現地法人での案件入力が可能
- 案件の確度、受注・売上計上時期の登録と複数パターンでの積上結果のシミュレーションが可能
- 滞留在庫・売上債権、各種 KPI 数値を統合的に管理
- 本社、地域統括会社、現地法人での各種レポート業務の効率化の実現

本事例の詳細は、2020年2月4日（火）に開催するフォーラム「Modern Business & Customer Experience (https://toyokeizai.net/sp/sm/modern2020/index.html)」(日本オラクル・東洋経済新報社 共催)の基調講演で紹介される予定です。

本発表に向けたお客様からのコメント：

「NECは中期経営計画において『グローバル・ビジネスの拡大』を重点施策として掲げ、海外事業の再編を実施しました。海外事業は複数の事業と地域統括・各拠点といった階層を持つ複雑な組織です。多様性と変化の激しい海外ビジネスにおいて精緻な状況把握と迅速な意思決定を行う経営管理基盤が必要でした。『Oracle EPM Cloud』を導入し、海外拠点の各種実績を連携、現地からの予測・計画値をタイムリーに収集・集計・分析できる基盤を構築することができました。」

日本電気株式会社 グローバル企画本部 シニアマネージャー 笠原 武浩氏

## 参考リンク

- [NEC](#)
- [Oracle EPM Cloud](#)

## 日本オラクルについて

人々が、新たな方法でデータを捉え、知見を導き出し、無限の可能性を得ることをミッションにしています。データ・ドリブンのアプローチにより情報価値を最大化するクラウド・サービス、それらの利用を支援する各種サービスを提供しています。オラクル・コーポレーションの日本法人。2000年に東証一部上場（証券コード：4716）。

URL： <http://www.oracle.com/jp>

## 日本オラクル公式ソーシャルメディアチャンネル

- Facebook <http://www.facebook.com/OracleJP>
- Twitter [https://twitter.com/Oracle\\_Japan](https://twitter.com/Oracle_Japan)

## オラクルについて

Oracle Cloudは、セールス、サービス、マーケティング、人事、経理・財務、製造などを網羅する広範なアプリケーション群、「Oracle Autonomous Database」に代表される、高度に自動化され、高いセキュリティを備えた第2世代インフラストラクチャを提供しています。オラクル（NYSE:ORCL）に関するより詳細な情報については、

[www.oracle.com](http://www.oracle.com)をご覧ください。

---

**【本件に関するお問い合わせ先】**

**日本オラクル株式会社**

広報室 谷地田

Tel: 03-6834-4837

Fax: 03-6834-6129

E-mail: [pr-room\\_jp@oracle.com](mailto:pr-room_jp@oracle.com)

プレスルーム <http://www.oracle.com/jp/corporate/press/>

\* Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文書は情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。

---

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

This device has not been authorized as required by the rules of the Federal Communications Commission. This device is not, and may not be, offered for sale or lease, or sold or leased, until authorization is obtained.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group. 0120

Disclaimer: This document is for informational purposes. It is not a commitment to deliver any material, code, or functionality, and should not be relied upon in making purchasing decisions. The development, release, timing, and pricing of any features or functionality described in this document may change and remains at the sole discretion of Oracle Corporation.